

循環器内科コース（第二内科）

（１）コースの全体像

1) すべての医療の基本である卒後研修・内科全般について救急を含め研修したい場合、2) 卒後研修を修了し、general medicine を深く学び、内科認定医・内科専門医の資格を取得したい場合、3) 卒後研修を修了し、一般内科（内科認定医は全員必須）に加えて高齢化社会を迎え益々需要が多くなる循環器内科に進みたい場合、4) 卒後研修を修了し、一般内科や専門も身に付けると同時に学位の取得や一流の研究をし、国内・海外留学もしたい場合、いずれの希望に対しても個性に応じた適切なコースを提供可能である。

循環器内科卒後臨床～専門医研修システム

卒後1年目	卒後初期臨床研修（必須）			
卒後2年目	循環・高次救命治療を中心とした内科全般の研修			
卒後3年目	循環器内科初期研修・内科認定医取得			
卒後4年目	循環器内科専門研修		循環器専門医取得	
卒後5年目	大学病院／関連病院	大学院 国内／海外留学	大学院 国内／海外留学	大学院 国内／海外留学
卒後6年目				
卒後7年目	大学院 国内／海外留学	大学院 国内／海外留学	大学院 国内／海外留学	大学院 国内／海外留学
卒後8年目				
卒後9年目	大学院 国内／海外留学	大学院 国内／海外留学	大学院 国内／海外留学	大学院 国内／海外留学
卒後10年目				

- 1) 第二内科（循環器内科）、総合診療部、高次救命救急部での研修。
複数選択すること。
- 2) 心カテ、心エコー、心筋シンチの各グループを4ヶ月ずつ研修する。
- 3) 心カテ、心エコー、心筋シンチのいずれかのグループに属し、専門性を高める。

特徴 1. 循環器内科専用の最新のカテ室が2室

（フィリップスII-biplane、シーメンスflat panel biplane）

2. カルトシステムなど国内最高・最新の解析・治療システム
3. 国内初の完全電子化カルテシステムに対応した循環器サーバーシステム
4. 豊富な症例数（冠動脈造影年間1200件、冠動脈形成術220件、アブレーション90件）

(2)コースの概要

大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成（受入）人数	期間
岐阜大学医学部附属病院	第2内科	循環病態学		各種専門医（内科専門医、循環器専門医）の取得、かつ（あるいは）医学博士取得を目指す	5名	
				受入人数	5名	

(3)コースの実績

循環器内科に加え、総合診療部、高次救命救急部での複数選択研修可能で、general medicine と救急医療に習熟することが出来る。循環器内科では、心カテ、心エコー、心筋シンチの各グループを4ヶ月ずつ研修の後、いずれかのグループに属し、専門性を高める。

当科にて、日本内科学会認定医・認定内科専門医、日本循環器学会認定循環器専門医の取得が可能である。学位取得のため、研究センターの大学院コースが用意されている。

(4)コースの指導状況

General medicine、救急医療を習熟し、さらに循環器内科として専門性を高めるよう指導している。具体的には、卒後4年後に内科認定医、卒後7年次に循環器専門医を取得するよう指導している。研究面においては、心血管系の再生医学ならびにアポトーシス研究、遺伝子治療、虚血心筋保護、血管内エコーによるプラーク診断で、世界的な業績がある。

(5)専門医の取得等

学会等名	日本内科学会、日本循環器学会
資格名	認定内科医、総合内科専門医、循環器専門医
資格要件	日本内科学会ホームページ(http://www.naika.or.jp/)ならびに日本循環器学会ホームページ(http://www.j-circ.or.jp/)を参照して下さい。
学会の連携等の概要	日本内科学会認定教育病院、循環器研修施設に認定されている。